

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名			必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	二年次		学期及び曜時限	通年 金曜4限 他	教室名	405教室
担 当 教 員	野津 裕子	実務経験とその関連資格	病院勤務時、回復期および生活期の高次脳機能障害の患者様のリハビリテーション業務の実務経験がある。			
《授業科目における学習内容》						
記憶や遂行機能など高次の脳機能が障害されることにより、病前の生活を維持することが困難になることがある。言語聴覚士には言語障害のみならず高次脳機能障害のある人に対する関りが求められている。本講義では、高次脳機能障害の定義から臨床象、評価、訓練法について学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(80点)、小テスト(20点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
【教科書】「標準言語聴覚障害 高次脳機能障害学」 医学書院						
《授業外における学習方法》						
各回の講義後に復習を行うことで疑問点を明らかにする。その疑問点については調べ学習や講師への質問等により疑問のまま残さない努力をしてください。また、小テストを活用して基本的知識の修得に努めること。						
《履修に当たっての留意点》						
2学年後期に履修する臨床評価実習に必要な基本的知識の獲得は必須である。加えて、言語聴覚士として必要な態度についても学ぶ。グループ活動では学びに貢献できるよう積極的に参加すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	ゲルストマン症候群の症候と検査法が説明できる。病態失。の発症メカニズムと責任病巣が説明できる。	教科書、配布資料		各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	身体意識・病態認知の障害①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ゲルストマン症候群の症候と検査法が説明できる。病態失。の発症メカニズムと責任病巣が説明できる。	教科書、配布資料		各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	身体意識・病態認知の障害②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	機能的分類と各障害について説明できる。	教科書、配布資料		各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	行為・動作の障害①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	機能的分類と各障害について説明できる。	教科書、配布資料		各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	行為・動作の障害②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	機能的分類と各障害について説明できる。	教科書、配布資料		各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	行為・動作の障害③			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	分類と基本概念、原因、発症メカニズム、評価法について説明できる。	教科書、配布資料	各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	記憶の障害①		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	分類と基本概念、原因、発症メカニズム、評価法について説明できる。	教科書、配布資料	各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	記憶の障害②		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	分類と基本概念、原因、発症メカニズム、評価法について説明できる。	教科書、配布資料	各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	記憶の障害③		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	部類と症状、病巣が説明できる。	教科書、配布資料	各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	前頭葉と高次脳機能障害①		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	部類と症状、病巣が説明できる。	教科書、配布資料	各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	前頭葉と高次脳機能障害②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	部類と症状、病巣、評価法が説明できる。	教科書、配布資料	各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	前頭葉と高次脳機能障害③		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	症状、評価時の留意点について説明できる。	教科書、配布資料	各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	脳梁離断症状①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	症状、評価時の留意点について説明できる。	教科書、配布資料	各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	脳梁離断症状②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	原因疾患と症状について説明できる。	教科書、配布資料	各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	認知症①		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価法、診断基準および介入について説明できる。	教科書、配布資料	各回の講義内容の復習を行うこと。小テスト行い理解度を確認する。
		各コマにおける授業予定	認知症②		